



発行責任所
別府市自衛隊協力会
印刷 (株) 電子印刷センター



中村 英昭 一等陸佐 第二十九代第四十一普通科連隊長兼 第三十二代別府駐屯地司令に着任

駐屯地司令要望事項「駐屯地一丸」
「地域との一体化」
連隊長 統率方針「任務完遂」
要望事項「責任を果たせ」

連隊は、令和2年3月18日(水)、新連隊長 中村英昭 1等陸佐を迎え、着任行事を実施した。副連隊長以下の隊員が整列する中、第4師団長 沖邑佳彦 陸

将から紹介を受けた連隊長は「諸官らの勇姿を見てみると嬉しい気持ちと身が引き締まる思いでいっぱいです。また、故郷の大分県で部隊長をできることは、この上ない喜びである。我が国はかつての冷戦以上の安全保障環境にある。そんな中、我々は訓練を重ね、装備品を駆使し、この国を守らなければならない。私は『任務完遂』を統率方針とする。予見できないものに対し備え、これを完遂するのは並大抵のことではないし困難が伴う。よって平素から訓練によって練度を上げて対応していかなければならない。要望事項は『責任を果たせ』だ。一人でもかけて、一人でも任務が達成出来なければ全てに影響を及ぼす。したがって責任をしっかりと果たしてもらいたい。責任とはそれだけではない。家族としての責任を果たしてもらいたい。家族を大事にしてもらいたい。仕事は楽しくやらなければならない。楽しくやる。君たちと一緒に汗をかく所存であるから、頑張っていこう。」と訓示を述べた。



巡閲



地点指示



隊内巡視

| | |
|-------|-------------------------|
| 氏名 | 中村英昭 (なかむら ひであき) |
| 生年月日 | 昭和45年1月28日 (50歳) |
| 出身地 | 大分県 |
| 主要部隊歴 | 平成4年3月 入隊 |
| | 幹部候補生学校 (前川原) |
| | 第3普通科連隊 (名寄) |
| | 第2中隊付 |
| | 平成9年8月 第1空挺団普通科群 (習志野) |
| | 小銃小隊長 |
| | 平成10年8月 空挺教育隊 (習志野) |
| | 教官 |
| | 平成13年8月 第1空挺団普通科群 (習志野) |
| | 副中隊長 |
| | 平成14年3月 群本部 (習志野) |
| | 第4科長 |
| | 平成16年8月 幹部学校付 (目黒) |
| | 第27普通科連隊 (鉧路) |
| | 第2中隊長 |
| | 平成18年3月 第11師団司令部 (真駒内) |
| | 第3部訓練班長 |
| | 平成20年3月 統合幕僚監部 (市ヶ谷) |
| | 総務部人事教育課 |
| | 平成22年8月 富士学校 (富士) |
| | 教育課第1戦術教官 |
| | 平成23年8月 第2普通科大隊長 (習志野) |
| | 幹部学校付 (目黒) |
| | 平成25年8月 第5旅団司令部 (帯広) |
| | 第3部長 |
| | 平成26年8月 空挺教育隊 (習志野) |
| | 空挺教育隊長 |
| | 平成29年3月 第41普通科連隊長 (別府) |
| | 兼別府駐屯地司令 |
| | 令和2年3月 |



中村 英昭
プロファイル

また別府大分毎日マラソン大会などの部外行事に積極的に協力するとともに、山の納涼音頭大会や駐屯地創立記念行事を通じて地域住民との一体化を図り、自衛隊への理解の促進と信頼の醸成に努められた。

また別府大分毎日マラソン大会などの部外行事に積極的に協力するとともに、山の納涼音頭大会や駐屯地創立記念行事を通じて地域住民との一体化を図り、自衛隊への理解の促進と信頼の醸成に努められた。



別府ONSENツーリズム大使委嘱式



師団長による紹介



山田 1佐 栄転

離任式

平和を仕事に!! 自衛官募集中!!

令和元年度 師団戦技競技会



炊事競技会



剣道



記念撮影(炊事競技会優勝第4中隊)



ドローン競技会



柔道



拳法



銃剣道

連隊は、令和2年2月12日(水)～13日(木)に福岡駐屯地で行われた令和元年度師団戦技競技会(武道・炊事・ドローン競技会)に参加した。本競技会の目的は、近接戦闘能力、野外炊事能力及び情報収集能力の向上を図るとともに、部隊の団結強化と士気の高揚を図ることである。

武道競技会は、銃剣道・拳法・剣道・柔道の4種目が行われ激闘を繰り広げた。銃剣道(団体戦)は、西部方面特科連隊(久留米)に勝利したものの第16普通科連隊(大村)と第40普通科連隊(小倉)に敗れ3位となり、拳法(団体戦)は、第40普通科連隊と西部方面特科連隊に勝利したが第16普通科連隊に敗れ、惜しくも準優勝となった。個人戦の成果は、拳法(陸士の部)で塩崎蓮 陸士長が優勝、銃剣道(陸士の部)で坂口隼介 陸士長が準優勝、銃剣道(陸士の部)で小川真弥 陸士長が準優勝、剣道では、太鼓真佑 3等陸曹が準優勝の成績を取った。

初開催となったドローン競技会は、各部隊2名1個組を編成し、飛行準備から情報資料提出までの一連の行動を行い飛行時間、課題達成状況を評価する要領で連隊を代表して重迫撃砲中隊が参加し、操作手とタブレット手の息の合った連携を披露したが惜しくも優勝には届かなかった。

炊事競技会は、2時間40分以内の調理時間の中でカレーライス・副食を調理し、見本・食味・手順等を審査した。連隊を代表して出場した第4中隊は、大分県が誇る高糖度のさつまいも(かん太君)を使用した甘口で濃厚な味の椎茸フライカレーとカボスの果汁と皮で爽やかな香りを加えたカボスサラダ、キャベツの甘みを生かしたコンソメスープを調理し、隊員それぞれが与えられた任務を黙々と遂行し見事優勝した。炊事競技会に参加した田口慶介 3等陸曹は「昨年2位で悔しい思いをして今年もほぼ同じメンバーで班長の的確な任務区分の元リベンジする事ができて良かったです。」と述べた。

〈成績〉

- 拳法 第2位
- 銃剣道 第3位
- 炊事 優勝

〈個人成績〉

- 拳法(陸士の部) 塩崎士長 優勝
- 銃剣道(陸士の部) 坂口士長 準優勝
- 銃剣道(陸士の部) 小川士長 準優勝
- 剣道 太鼓3曹 準優勝

各種教育

初級部隊通信 (12月16日～3月24日)



縛着訓練



有線構成

初級らっば (1月14日～3月19日)



全体合奏



全体合奏

初級ATM (1月14日～3月19日)



遮蔽射撃



測量訓練

補助担架 (2月3日～2月21日)



救急処置



担架搬送

令和元年度 連隊武装走競技会



優勝した第4中隊

連隊は、令和2年1月22日(水)十文字原演習場において令和元年度連隊武装走競技会を実施した。本競技会の目的は、気力・体力の向上を図るとともに、部隊の団結強化及び士気の高揚を図るものである。本競技会は、約5kmの起伏の激しい演習場内のコースを小銃や、水筒などの装具を携行し、1チーム10名から15名の編成で走行し完走後、選ばれたチーム内の5名が射場において的の中心に対して射撃を行い、その後全員でゴールまで走りきるというもので、各中隊の平均タイムで優勝が争われた。走行間、どのチームの選手達も遅れている隊員に叱咤激励し、力を合わせながら誰一人として脱落する事なく全員でゴールを目指した。競技会に参加した分隊の部、第1位に輝いた第2中隊第1分隊、第2位の第3中隊第1分隊、第3位の第1中隊第1分隊が栄冠を平均タイム32分26秒の第4中隊に輝いた。

| 成績 | |
|--------|-------------------|
| 優勝 | 第4中隊 平均タイム 32分26秒 |
| 第2位 | 第3中隊 32分40秒 |
| 第3位 | 第1中隊 33分12秒 |
| 〔分隊の部〕 | |
| 第1位 | 第2中隊第1分隊 28分7秒 |



疾走する隊員達



分隊の部第1位 第2中隊1分隊



力走する女性自衛官

令和元年度 連隊小火器射撃競技会



総合の部優勝 第3中隊

連隊は、令和2年2月17日(月)～19日(水)までの間、十文字原演習場において令和元年度連隊小火器射撃競技会を実施した。本競技会の目的は、小火器射撃競技会を実施して、射撃練度及び各級指揮官の射撃指揮能力の向上を図るとともに部隊団結の強化を図る事である。競技は、基本射撃・至近距離射撃(夜間射撃含む)・戦闘射撃の部で実施され、各中隊から選ばれた隊員達は中隊の名譽にかけて競技会に挑んだ。

| 成績 | |
|------------|------|
| 〔総合の部〕 | |
| 優勝 | 第3中隊 |
| 優勝 | 第3中隊 |
| 〔基本射撃の部〕 | |
| 優勝 | 第3中隊 |
| 優勝 | 第3中隊 |
| 〔至近距離射撃の部〕 | |
| 優勝 | 第3中隊 |
| 優勝 | 第3中隊 |
| 〔対人狙撃銃の部〕 | |
| 優勝 | 第3中隊 |
| 優勝 | 第2中隊 |
| 〔機関銃射撃の部〕 | |
| 優勝 | 第3中隊 |
| 優勝 | 第2小隊 |



基本射撃



至近距離射撃



戦闘射撃

第69回 別府大分毎日マラソン大会支援

令和2年2月2日(日)、第69回別府大分毎日マラソン大会が大分市のうみたまご前をスタート、大分市営陸上競技場をフィニッシュとするコースで開催された。今回の大会も前回に引き続き本部管理中隊(中隊長 酒井一光 1等陸尉)が支援を担当した。大会前日には、隊員を代表して高橋靖弘 2等陸尉、井上幸広 1等陸曹、上田亮亮 3等陸曹の3名がOBS大分放送の「かぼすタイム」に生出演して、それぞれの任務や意気込みなどを述べ自衛隊を大いにPRした。当日は、スタート地点において、参加選手の荷物を大型トラックに積載しゴール地点に輸送するとともに、選手が補給するスペシャルドリンクを高機動車2両に積載し別府市内から大分市内のコース上8か所の給水地点へ輸送した。また競技間は、大会役員を乗せて小型トラック3両でコースを走行しながら監察業務に協力した。この他、スタート地点で、第41普通科連隊音楽部・第40普通科連隊音楽部(小倉・西部方面特科隊音楽部(湯布院)の合同音楽隊が「パプリカ」や「負けないで」などの激励演奏を行い参加選手と観客を盛り上げた。連隊は本支援を通じて大会実行委員・地元ボランティアと協力してレースの成功を支え、参加選手・応援者に自衛隊への理解と信頼を深めて頂く事ができた。



TVの生放送で演奏する隊員



音楽演奏



選手の荷物積載

令和元年度 別府駐屯地成人行事

別府駐屯地は、令和2年1月14日(火)、令和最初となる別府駐屯地成人行事を実施した。本行事の目的は、駐屯地所在部隊の新人を祝福・激励するとともに、社会人並びに自衛官としての自覚を促す為に毎年行われている。1999年「だんご3兄弟」のヒットや松坂大輔投手の「リベンジ」が流行語になった年に産声を上げた64名は晴れて大人の仲間入りを果たした。

部外講話では、大分縣護國神社宮司 八坂秀史氏が新成人としての心がまえを説き、隊員達は真剣な眼差しで耳をかたむけた。正午から行われた祝賀会食で、駐屯地司令 山田憲和 1等陸佐が、「苦しい時にもうひと踏ん張り」「当たり前の事を当たり前にやる」「別府の良さを理解しなさい」の3点を要望した。新成人を代表して挨拶した重迫中隊 大藪一番 陸士長は、「これから成人者」同目標へ向かって努力し、失敗を恐れず、困っている人を助け、これまで支えてくれた方々への感謝の気持ちを忘れず頑張ってください」と決意を述べた。会食後に行われたタイムカプセルの埋設では、「二十歳の誓い」と「20年後の自分へのメッセージ」というテーマで、各人が書き綴った思いを埋設した。タイムカプセルは20年後に開かれる。新成人となり新たな決意を胸にこれからの社会、自衛隊を担っていく若者達の活躍に期待したい。



部外講話



記念撮影



タイムカプセルの埋設

別府駐屯地ホームページ更新!!

第4師団ホームページ リンク 別府駐屯地

平和を仕事に!! 自衛官募集中!!

別府駐屯地業務隊 年頭行事

令和2年1月14日、業務隊は令和2年業務始めとして毎年恒例となつて居る安全祈願を隊長以下有志により行った。神社に到着し、初めに手水でお清めをした。手水の冷たさは、境内の静粛さと相まって自然と背筋が伸びる。檜がほのかに香る厳かな神殿において、祝詞を捧げていた。だくとも、宮司からありがたい話を賜り、新年の業務開始にあたり前向きな気持ちを持つことができた。神社からの帰りには、駐屯地まで経路の清掃活動を行うとともに駐屯地到着後は、全隊員により官用車の安全祈願を行った。令和2年も業務隊は、部隊および隊員のために質の高いサービスを提供していく。



官用車の安全祈願

第404会計隊

訓練始め



記念撮影

会計隊は、令和2年1月10日に訓練開始で有志により、持続走訓練を実施した。天候も良く絶好の訓練日和で爽快に走ることが出来た。
また、一年隊員全員及び隊員家族の健康と飛躍また事故なく過ごせるように祈願した。
今年(令和2年度)は、西部方面総監検閲を受閲予定のため昨年以上に体力錬成に努めるように全員で意思の疎通を図った。
帰隊時も隊員一丸となり走って駐屯地営門をくぐって帰路についた。

第3普通科直接支援中隊

小隊練成訓練を実施

第3普通科直接支援中隊では、令和2年2月8日から10日までの間十文字原演習場において小隊練成訓練を実施しました。ベテラン隊員が減り若年隊員が増えていくなかで、新隊員の戦力化、若手隊員の技能や知識の向上を図るべく各種訓練が行われました。
特に車両回収訓練においては、車両整備員だけではなく火器整備員・通信整備員も訓練を実施しました。車両整備員以外は今まで実施したことのない訓練でしたが、今後の第3普通科直接支援中隊のあり方を認識し、全員が積極的に訓練に臨んでいました。



回収の指揮を執る河野1曹



バンパーの付け替えをする川口士長

大分地方協力本部 大分地域援護センター 企業主等県外所在部隊研修(築城基地航空祭)

自衛隊大分地方協力本部援護課大分地域援護センターは、12月8日(日)に就職援護協力企業10社18名の参加を得て航空自衛隊築城基地で実施された築城基地航空祭の研修を実施した。
築城基地航空祭は、F-15によるオープニングフライトから始まり、T-7の航過飛行、F-15による機動飛行、F-15によるデモスクランブル、ブルーインパルスによる編隊飛行が、青空を舞台に展示され、参加企業の皆様は、迫力のある航空ショーを楽しんでいた。



展示航空機の前での記念撮影



ブルーインパルスの編隊飛行

特に午後から実施された、ブルーインパルスの編隊飛行は、ハートマークや、オリンピックの五輪マークを青空をキャンパスにスモークで描がられ、統制の取れた見事な編隊飛行と相まって観客の皆様を魅了していた。
参加企業の皆様からは、「すばらしかったです。」「感動しました」等の感想が聞かれた。
大分地域援護センターは、今回の研修を通じて、就職援護協力企業の皆様の自衛隊への理解を促進し、連携を深め、隊員のニーズに応じた就職援護を推進していきます。

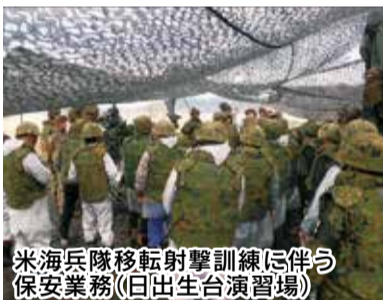
第134地区警務隊別府派遣隊

警務隊の活動状況

別府派遣隊は、1月19日(日)部外ホテルで実施された大分地方協力本部創立65周年記念行事において、来賓として出席された国会議員の警護及び会場警備を実施した。
また、2月3日(月)から2月29日(土)までの約一か月間、日出生台演習場で実施された令和元年度米海兵隊移転射撃訓練において、九州防衛局・大分県警等、部内外機関と連携した不測事態対処等の保安業務を24時間態勢で実施し、任務を完遂した。



大分地本記念日行事に伴う保安業務(大分市内ホテル)



米海兵隊移転射撃訓練に伴う保安業務(日出生台演習場)

第304基地通信中隊 別府派遣隊 衛星幹線通信システム教育参加

来年度以降、別府派遣隊での運用が予定されている衛星幹線通信システムについて、3月5、6日の2日間、KDDIによる教育に参加した。

中隊本部及び中隊隷下の八個派遣隊が集まり、概要説明を受けた後、機器間の接続、端末等の起動及びセットアップ、通信接続要領について反復演習を実施するとともに、実際に衛星を介しての通信も実施し、取扱操作について修得した。

今後は、早期に派遣隊員全員への普及教育を実施するとともに、練度を向上させ、運用開始に備える。



BGAN端末の取扱い教育

- ① 階級・氏名・年齢 ② 所属・役職 ③ 自衛隊を勤めた動機・入隊動機 ④ 父(息子)が職場にいての利点・欠点
- ⑤ 父(息子)の家での姿と職場の姿 ⑥ 父(息子)の入隊する前と後の見え方の違い ⑦ 今後の目標

駐屯地隊員紹介

親子編



① 2等陸尉 齊藤 芳孝 (51)
 ② 第41普通科連隊 連隊本部 広報班長
 ③ 両親の負担の軽減及び何か役に立てる仕事を考えていたから
 ④ 利点：身近に成長が見える 欠点：特になし
 ⑤ 職場の姿：自分の目標を持って行動している。(暴走は禁) 家での姿：とにかく多趣味・アウトドア派・筋トレ好き
 ⑥ 入隊前：体も細く少し心配・根性は安心 入隊後：体も鍛え遅く自信をもって行動している。親としてこれからの成長が楽しみ
 ⑦ 与えられた職務をしっかりと完遂し、自衛官としての終盤で少しでも部隊に貢献できるよう邁進する。
 ※たまには息子のお目付け役も完遂する。



① 2等陸曹 齊藤 真史 (29)
 ② 第41普通科連隊 第4中隊 対戦車小隊分隊長
 ③ 体を鍛える仕事という浅はかな気持ちから…
 ④ 利点：仕事の相談ができる 欠点：特になし
 ⑤ 職場の姿：良い人間関係を構築しており信頼されている 家での姿：裏表のない釣りキチ
 ⑥ 入隊前：善き父 入隊後：周りから職場での父の話を聞き、これまでの父の努力を痛感した
 ⑦ 自分を育ててくれた先輩を信じ、自分を信じて部隊を強くしていきたい

木崎 俊造



出身地 大分県竹田市
 部隊歴
 ● 昭和63年8月～平成元年8月 (第41普通科連隊第15代第3中隊長)
 ● 平成22年3月～平成23年8月 (第33代西部方面總監)

大河ドラマ「麒麟がくる」兵法指導役 木崎俊造氏紹介

陸上自衛隊西部方面隊の元總監で別府駐屯地在隊時には、第3中隊長を務めた木崎俊造氏が令和2年1月19日からNHKで日曜午後8時から放送されている大河ドラマ「麒麟がくる」の兵法指導役として活躍されています。皆さんもNHK大河ドラマ第59作「麒麟がくる」を是非ご覧になられてみてはいかがでしょうか。

転出者

第41普通科連隊から

連隊本部 (1名)
 ● 1等陸佐 山田 憲和 陸上自衛隊教育訓練研究本部 (目黒)

本部管理中隊 (10名)

- 陸曹長 中元 守 湯布院駐屯地業務隊 (湯布院)
- 陸曹長 黒木 吉文 第19普通科連隊 (福岡)
- 陸曹長 立木 敬三 自衛隊大分地方協力本部 (大分)
- 陸曹長 河村 賢一 第1ヘリコプター野整備隊 (木更津)
- 1等陸曹 渡邊 誠二 別府駐屯地業務隊 (別府)
- 1等陸曹 平山 大輔 第50普通科連隊 (高知)
- 2等陸曹 豊田 聡 高射教導隊 (下志津)
- 2等陸曹 小笠原 隼人 第7普通科連隊 (福岡)
- 3等陸曹 嘉村 友希 第4高射特科大隊 (久留米)
- 陸士長 榎木 彰人 自衛隊福岡病院 (春日)

転入者

第41普通科連隊へ

連隊本部 (2名)
 ● 1等陸佐 中村 英昭 空挺教育隊 (習志野)
- 1等陸尉 伊藤 俊嗣 富士学校 (富士)

本部管理中隊 (4名)

- 陸曹長 村居 良一 自衛隊大分地方協力本部 (大分)
- 1等陸曹 出水 高士 第15普通科連隊 (福岡)
- 2等陸曹 福嶋 高士 第15普通科連隊 (福岡)
- 2等陸曹 榎木 雄一 富士学校 (富士)
- 3等陸曹 三島 翔也 衛生学校付 (三宿)
- 2等陸曹 深村 直人 西部方面情報隊 (与那国)
- 2等陸曹 河野 洋平 第5陸曹教育隊 (久留米)
- 3等陸佐 松本 哲治 富士学校 (富士)
- 3等陸尉 河越 一伸 対馬警備隊 (対馬)
- 1等陸尉 牧瀬 英樹 幹部候補生学校 (前川原)
- 1等陸尉 柳原 和雄 自衛隊大分地方協力本部 (大分)
- 1等陸曹 柳田 三治 第11普通科連隊 (前千歳)
- 3等陸曹 柳田 三治 幹部候補生学校教導隊 (前川原)

第2中隊 (3名)

- 1等陸尉 河部 貴史 自衛隊大分地方協力本部 (大分)
- 3等陸曹 坂本 憲藏 防衛大学校 (横須賀)
- 3等陸曹 江口 剣史 第33普通科連隊 (久居)

第3中隊 (3名)

- 1等陸尉 下城 孝博 対馬警備隊 (対馬)
- 1等陸曹 佐藤 晋一郎 自衛隊大分地方協力本部 (大分)
- 1等陸曹 大野 定男 幹部候補生学校教導隊 (前川原)

第4中隊 (6名)

- 1等陸尉 加藤 大地 富士学校 (富士)
- 1等陸尉 村上 雄介 第3普通科連隊 (北千歳)
- 3等陸曹 新名 拓己 教育訓練研究本部付 (高知)
- 3等陸曹 吉田 大志 第50普通科連隊 (北千歳)
- 3等陸曹 荻島 章友 教育訓練研究本部付 (健康)
- 陸曹長 高橋 章友 警務隊 (健康)

重迫撃砲中隊 (1名)

- 3等陸曹 西 大地 普通科教導連隊 (滝ヶ原)

別府駐屯地業務隊から

- 1等陸尉 藤田 治世 自衛隊別府病院 (南別府)
- 准陸尉 坂本 清伸 第41普通科連隊 (別府)
- 行(一) 山田 明敏 海上自衛隊下関基地隊本部 (下関)
- 行(二) 山之内 宏行 北熊本駐屯地業務隊 (北熊本)
- 行(三) 内藤 雄貴 大村駐屯地業務隊 (大村)
- 行(四) 山本 翔平 自衛隊長崎地方協力本部 (上五島)
- 行(五) 山本 嘉彦 対馬警備隊 (対馬)
- 行(六) 山根 雅人 小郡駐屯地業務隊 (小郡)
- 行(七) 相知 雅人 小郡駐屯地業務隊 (小郡)
- 404会計隊から
- 3等陸佐 野田 勝美 西部方面会計隊本部 (健康)
- 2等陸尉 小野 誠 第404会計隊珠珠派遣隊 (健康)
- 1等陸尉 永木 光男 第135地区警務隊 (北熊本)
- 1等陸尉 佐藤 英和 第304基地通信中隊 (健康)
- 3等陸曹 山下 琴子 西部方面システム通信群 (飯塚)
- 自衛隊大分地方協力本部 援護課 大分地域援護センターから (1名)
- 1等陸尉 阿部 誠 自衛隊大分地方協力本部 (大分)

3月定期異動者紹介

定年退官者紹介

永年にわたる勤務お疲れ様でした

〔1月18日付〕 別府駐屯地業務隊 2等陸佐 石橋 正
 〔3月31日付〕 別府駐屯地業務隊 防衛技官 安達 憲男
 ↓ 弘済企業株式会社
 ↓ 株式会社スマートエナジー九州支社

別府駐屯地ホームページ更新!!

第4師団ホームページ

リンク

別府駐屯地



平和を仕事に!! 自衛官募集中!!

JR大分駅前広場市街地広報

連隊は、令和2年2月9日(日)JR大分駅前広場において行われた「JR大分駅前市街地広報」に装備品展示及び・音楽演奏を以って支援した。本支援の目的は、自衛隊への認知向上と募集基盤の拡充を図ることである。当日は、軽装甲機動車・オートバイ・災害派遣パネル等を展示し、駅前を通る人達は普段見る事ができない自衛隊車両などに興味深々で隊員に質問したり、記念写真を撮るなどしていた。

また連隊音楽部は、西部方面特科隊音楽部と合同で、音楽演奏を行い「名探偵コナンのテーマ」や子供達に大人気の「パプリカ」などの曲目を披露し、観客を盛り上げた。

今後も様々な広報活動を通じ自衛隊への理解と信頼を獲得していきたい。



音楽演奏



装備品展示



装備品展示

防衛・駐屯地モニター紹介

令和2年度
防衛・駐屯地モニター

●防衛モニター

後藤 陽子様

●駐屯地モニター

恵良 寧様

石田 沙織様

藤沢 義隆様

江藤 大悟様

小井手 浩美様

令和元年度
防衛・駐屯地モニター

●防衛モニター

百武 正伸様

●駐屯地モニター

河口 敬一郎様

石田 和徳様

豊島 敬一様

神保 淳子様

角野 千晶様

委嘱者の皆様、宜しくお願い致します。終了者の皆様、別府駐屯地への貴重なご意見等ありがとうございました。

モニター研修風景



体験試乗



新隊員特技課程訓練研修



連隊武道競技会研修

春季県体第62回県内一周大分合同駅伝競走大会

連隊は、令和2年2月17日(月)から2月21日(金)までの5日間にわたって大分県内全域で開催された春季県体第62回県内一周大分合同駅伝競走大会に、持続走訓練隊重迫撃砲中隊蒲生健児1等陸曹以下14名がそれぞれの郡市の代表として一般ランナーの方々と共に参加した。

大会は全国でも珍しい、5日間で39区間、総距離390・8キロで実施され5日間の所要時間を合計して順位を決定し大分県内の17郡市が参加して熱戦を繰り広げた。

参加した隊員達は、沿道からの大きな声援を受けながら日頃の練成の成果を発揮し、それぞれの郷土の誇りを胸にタスキをつないだ。別府市チームとして大会に出場した重迫撃砲中隊 西大地 3等陸曹は「富士登山での登坂走で脚筋力が鍛えられ、今大会で自分らしい走りが出来ました。努力賞の獲得も今後の自信になります。」とコメントした。また第2中隊 浦川 良夢 陸士長と重迫撃砲中隊 岩本孝信 2等陸曹が区間賞を獲得した。

大会の最終結果については、1位に大分市、2位に豊後大野市、昨年10位の別府市は健闘したが再び10位の結果となり来年に向け良い教訓となる大会となった。

今大会を通じて別府自衛隊の名を大いに示すと共に、地域への貢献活動ができた。来年も郷土の為に激走する彼らの活躍に期待したい。



区間賞の浦川士長



森士長から平林2曹へ



激走する後藤3曹

部外参加イベント



別府市成人式(記念撮影)



わさだタウン募集広報(装備品展示)



建国記念の日祝賀市民大会(音楽支援)

曹友会活動



いちご狩り



下士官交流



別府市社会福祉協議会へ車いすの寄贈